



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 株式会社fantasista 上場取引所 東
 コード番号 1783 URL <https://fantasista-tokyo.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田野 大地
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部本部長 (氏名) 大森 健史 (TEL) 03-5572-7848
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	7,813	37.1	23	△36.2	△188	—	△223	—
2024年9月期第3四半期	5,699	△4.8	36	△97.3	14	△98.9	9	△99.0

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 △223百万円(—%) 2024年9月期第3四半期 9百万円(△99.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	△1.31	—
2024年9月期第3四半期	0.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	9,156	6,393	69.8
2024年9月期	14,215	6,616	46.5

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 6,390百万円 2024年9月期 6,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	—	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	24.9	750	6.8	500	△24.7	320	10.1	1.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期3Q	170,042,851株	2024年9月期	170,042,851株
2025年9月期3Q	282株	2024年9月期	282株
2025年9月期3Q	170,042,569株	2024年9月期3Q	170,042,622株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善の動きが続く中、個人消費や設備投資は持ち直し企業収益は改善するなど、緩やかな回復基調を辿りました。

一方で、物価上昇の継続、中東の国際紛争激化、金融資本市場の変動等に加え、米国のトランプ関税の直接的または世界経済を通じた間接的な影響への懸念等、先行きの不透明感はますます高まっております。

そんな中当社の主要事業領域である不動産業界では、以下の動向が見られました。

- ・全国の地価（令和7年地価公示）は4年連続で上昇し、特に東京圏、大阪圏での上昇幅拡大傾向継続
- ・日銀のマイナス金利政策解除による金利上場は不動産投資等への影響を懸念
- ・（住宅関連）建設コスト高や人口減少の影響で新築供給が減少する一方、中古住宅流通は拡大、併せて空き家問題も深刻化
- ・（オフィス関連）コロナ禍からのオフィス回帰が進み、都心部を中心に新規供給増加傾向、空室率低下、賃料上昇など堅調に推移
- ・（商業施設・ホテル関連）都心部商業施設での人流復活で都心回帰の現象がみられ、宿泊施設もインバウンド客拡大により更に活況へ

このような状況のもと、当社は、『多様化する世界に驚きと感動を与え続けるためにたゆまぬ努力で挑戦し続ける。』の企業理念に基づき、当社グループの柱であるリアルエステート事業の収益力のさらなる強化と、新たな柱となる事業の育成の取組みを進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高78億13百万円（前年同期比37.1%増加）、営業利益23百万円（前年同期比36.2%減少）、経常損失1億88百万円（前年同期経常利益14百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億23百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

1) リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、販売用不動産の消化が進み、またインバウンド需要に支えられたホテル事業が堅調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間は、売上高75億57百万円（前年度同期比41.0%増加）、営業利益3億98百万円（前年同期比4.9%減少）となりました。

2) ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、同業他社において昨年3月に発覚した紅麹問題の発生以降の業績低迷傾向は続き、そこからの脱却が進まない状況となっております。業績回復のため、新規顧客の掘起しや顧客の定着化のため、新商品開発やマーケティングの挺入等の強化策を推進中であります。

結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高1億5百万円（前年同期売上高3億22百万円）、営業利益4百万円（前年同期営業利益72百万円）となりました。

3) クリーンエネルギー事業

クリーンエネルギー事業は、第1四半期連結会計期間において、「系統用蓄電池用地」「EV（電気自動車）充電器」の第一号売上計上が実現し、系統用蓄電池用地関連販売は今後の積上げが見込めることから、第1四半期連結会計期間より報告セグメントといたしました。当第3四半期連結累計期間は、売上高1億49百万円、営業利益51百万円となりました。

4) その他

当社グループは、既存の事業に加え、新たな事業の開拓・育成を行っております。

その中で、第1四半期連結会計期間より、上述のとおり「クリーンエネルギー事業」を報告セグメントといたしました。

不動産DXビジネス領域における「造成くん、AI」(※ AIにより不動産開発や造成工事の土量や費用の概算見積書を簡単に高速で作成できるアプリ)もその進展次第で報告セグメント化していく方針であります。

なお、2024年6月30日付取締役会において事業廃止を決議した「不動産コンサルティング事業」は、第1四半期連結会計期間より事業の報告セグメントを廃し、「その他」に含めて表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

1) 資産

当四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて50億58百万円減少し、91億56百万円となりました。

流動資産は51億31百万円減少し72億84百万円、固定資産は72百万円増加し18億72百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金の減少15億61百万円、販売用不動産の減少35億72百万円などです。

固定資産増加の主な要因は、建物及び構築物の増加6億67百万円、有形固定資産のその他の減少4億23百万円、のれん償却による減少2億45百万円、無形固定資産のその他の増加69百万円などです。

2) 負債

当四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて48億35百万円減少し、27億63百万円となりました。

流動負債は48億65百万円減少し19億15百万円、固定負債は30百万円増加し8億48百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金の減少15億97百万円、短期借入金の減少32億22百万円などです。

固定負債の増加の主な要因は、長期借入金の増加24百万円などです。

3) 純資産

当四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億22百万円減少し、63億93百万円となりました。純資産減少の主な要因は、利益剰余金の減少2億23百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月14日付の2024年9月期決算短信で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,965,997	1,404,480
売掛金	550,855	137,486
商品	579,874	639,088
原材料及び貯蔵品	1,792	1,217
販売用不動産	7,997,300	4,424,941
前渡金	39,221	27,418
未収入金	13,565	3,700
その他	280,610	647,723
貸倒引当金	△13,974	△2,005
流動資産合計	12,415,243	7,284,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	143,802	811,031
機械装置及び運搬具(純額)	701	219
工具、器具及び備品(純額)	5,819	8,187
土地	194,497	194,497
リース資産(純額)	2,137	1,656
その他(純額)	442,768	19,353
有形固定資産合計	789,726	1,034,945
無形固定資産		
のれん	655,202	409,814
その他	119,499	189,367
無形固定資産合計	774,701	599,181
投資その他の資産		
繰延税金資産	113,566	113,566
その他	121,889	124,833
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	235,355	238,300
固定資産合計	1,799,784	1,872,427
資産合計	14,215,027	9,156,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,613,127	15,489
短期借入金	3,349,371	127,000
1年内返済予定の長期借入金	226,598	1,394,072
1年内償還予定の社債	850,000	—
未払法人税等	269,434	23,575
賞与引当金	6,023	2,251
株主優待引当金	18,996	—
その他	447,366	352,765
流動負債合計	6,780,919	1,915,155
固定負債		
長期借入金	723,476	747,819
役員退職慰労引当金	21,725	27,650
退職給付に係る負債	331	732
リース債務	—	5,960
長期預り金	35,700	35,700
資産除去債務	29,919	30,117
その他	6,773	45
固定負債合計	817,926	848,025
負債合計	7,598,845	2,763,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,633,604	6,633,604
資本剰余金	4,652,655	4,652,655
利益剰余金	△4,672,351	△4,895,573
自己株式	△43	△43
株主資本合計	6,613,864	6,390,642
新株予約権	2,318	2,656
純資産合計	6,616,182	6,393,299
負債純資産合計	14,215,027	9,156,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)
売上高	5,699,673	7,813,324
売上原価	4,558,273	6,778,222
売上総利益	1,141,399	1,035,101
販売費及び一般管理費	1,105,266	1,012,047
営業利益	36,132	23,053
営業外収益		
受取利息	8,902	4,265
受取配当金	846	99
賃料収入	—	4,410
その他	7,293	575
営業外収益合計	17,042	9,349
営業外費用		
支払利息	35,308	221,333
その他	3,409	3
営業外費用合計	38,718	221,336
経常利益又は経常損失(△)	14,457	△188,933
特別利益		
固定資産売却益	—	1,025
新株予約権戻入益	78,642	2,318
特別利益合計	78,642	3,343
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	93,099	△185,589
法人税等	83,554	37,631
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,544	△223,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,544	△223,221

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,544	△223,221
四半期包括利益	9,544	△223,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,544	△223,221
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1) 前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (千円) (注) 2
	リアルエステート 事業 (千円)	ヘルスケア事業 (千円)	不動産 コンサルティング 事業 (千円)			
売上高						
外部顧客への売上高	5,358,111	322,702	18,859	5,699,673	△0	5,699,673
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	189,503	—	189,503	△189,503	—
計	5,358,111	512,206	18,859	5,889,176	△189,503	5,699,673
セグメント利益 又は損失(△)	418,727	72,131	△11,216	479,642	△443,509	36,132

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用418,697千円およびセグメント間取引消去であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2) 当第3四半期連結累計期間(自2024年10月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額・ その他 (千円) (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (千円) (注) 2
	リアルエステート 事業 (千円)	ヘルスケア 事業 (千円)	クリーンエネル ギー事業 (千円)			
売上高						
外部顧客への売上高	7,557,224	105,955	149,830	7,813,009	314	7,813,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	46,689	—	46,689	△46,689	—
計	7,557,224	152,645	149,830	7,859,699	△46,375	7,813,324
セグメント利益	398,231	4,648	51,095	453,976	△430,922	23,053

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用429,697千円およびセグメント間取引消去であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- 第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして記載しておりました「不動産コンサルティング事業」については、2024年6月30日取締役会での事業廃止決議し、量的重要性も低下したため、同事業の報告セグメントを廃し、「調整額・その他」に含めて表示しております。なお、「調整額・その他」に含まれる当該事業の売上高は314千円、セグメント損失は1,225千円であります。
- 第1四半期連結会計期間より、2023年12月に事業を開始したクリーンエネルギー事業は、これまで「調整額・その他」に含めて表示しておりましたが、重要性が高まったため、報告セグメントとして区分記載することに変更いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間の同報告セグメントは、売上高149,830千円、セグメント利益51,095千円となる一方、「調整額・その他」は同額減少しております。

※ 本件に関しては、本短信の添付資料P3「(1)経営成績に関する説明 4)その他」をご参照ください。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)
減価償却費	15,305千円	16,940千円
のれんの償却額	246,263千円	245,388千円